

令和3年度 久手小 学校だより 1月号

か け と



令和4年1月20日(木)

あけまして おめでとうございます



3学期 始業式

新年になってから比較的穏やかな天気が続いていましたが、ここ数日は寒い日が続いています。少し遅くなりましたが、保護者の皆様・地域の皆様 あけましておめでとうございます。今年も久手小学校へのご支援よろしくお願い申し上げます。

1月11日(火)から3学期がスタートしました。3学期はとても短い学期ですが、1年のまとめの学期、次の学年への準備を行う学期でありとても大切です。一日一日、今できることにじっくりと取り組み、今年度のうちに身につけておかなければならない力をしっかりと身につけてほしいと思います。そのことが次のステップへの大きな力になることと思います。

始業式では、1月4日にあった大田市成人式での「新成人の決意」を子どもたちに紹介しました。一人は法律家をめざして一生懸命勉強し社会に貢献したいと考えている大学生。もう一人は学校の先生になってこれまで支えてもらったふるさとへ恩返しをしたいと考えている大学生でした。自らの夢に向かって努力を続けている二人のように、新しい年を迎えるにあたって新年の決意や目標をしっかりと立て、それに向かって努力を続ける年にしましょうと子どもたちに呼びかけました。

ここ数日、全国的に新型コロナウイルス オミクロン株の感染急拡大が続いています。市内でも感染者が続いており、今後の状況も心配されます。久手小学校では感染防止をしっかりと教育活動を続けたいと考えていましたが、様々な活動の見直しを進めているところです。今後、急な変更等お願いすることもあるかと思ひます。どうぞご理解いただきますようお願いいたします。



ダンボの会 読み聞かせ



2学期お休みしていたダンボの会のみなさんによる読み聞かせをまたスタートしました。久しぶりの読み聞かせ、どの学級の子どもたちもお話の世界に引き込まれていました。

集中！！ 書き初め



新年を迎え、子どもたちは書き初めに挑戦しました。1・2年生はフェルトペンで、3年生以上は毛筆での書き初めです。写真は5年2組の学習の様子です。みんな集中し、手本をよく見ながら一画一画ていねいに書いています。

GIGAスクール構想の実現に向けて

デジタル化の波を乗り越えるためのアクセルとブレーキ

今年の冬休み、久手小学校では本年度配布されたタブレットパソコンを家庭に持ち帰り学習に使用する取組を行いました。リモート授業などはまだできませんが、臨時休校など万が一に備えての実験の意味を込めての取組です。お子様の活用状況はどうだったでしょうか。

学校評価保護者アンケートの自由記述に「タブレットの活用に合わせてメディアとの付き合い方について、もう少し先進的な取組をして欲しい。単に使用時間を示すのではなく、生活と結び付ける必要があります。」というご意見をいただきました。せっかくの機会ですので今後のGIGAスクール構想への取組についてお知らせします。

コロナ禍によって一気に進んだ学校のデジタル化。この流れは進むことはあっても止まることはないと思われまます。2月には5・6年教室に65型のデジタル黒板が入ります。来年度5・6年生には英語ともう1教科デジタル教科書が配布されます。近い将来には学力調査もタブレットで実施されるかもしれません。今後の教育政策は一人1台タブレットを前提として行われていくのです。そのような時代を生きていく今の子どもたちには、デジタル化の波について行くだけではなく自ら乗り越える力が必要だと考えます。自らアクセルをしっかりと踏んで使いこなしていく力を身につけてほしいと思います。まずはしっかりと慣れること、そして、タブレットで調べ、考え、表現する学習にどんどん取り組んでいきます。

デジタル化の波を乗り越えるアクセルを踏む力を身につける一方で、自らブレーキを踏む力も同じくらい大切な力と考えます。ブレーキとはメディアコントロールの力・情報モラルです。学校現場では10年以上前からメディアとの付き合い方について取組を行ってきました。しかし、スマホや次々と登場する魅力的なゲームに取組の成果がなかなか上がらないのが現状です。学校現場はまだ自らブレーキを踏む力を身につけさせる答えを見つけ出せていません。この点ではいただいた意見のように先進的な取組が必要なかもしれません。ただ、学校と家庭が力を合わせて取組を続けていかなければならないことは確かだと思えます。

GIGAスクール構想はスタートしたばかりです。デジタル化の波を乗り越えるアクセルとブレーキをしっかりと意識し、今後も取組を進めていきます。

久手小学校
ホームページ

こちらからどうぞ

